

発行所  
真宗大谷派宗務所  
代表者 木越 渉  
編集/東本願寺出版(真宗大谷派宗務所出版部)  
〒600-8505 京都市下京区烏丸通七条上る  
TEL.075-371-9189(東本願寺出版)

購読料 無料  
送料 1部1カ年1,300円  
(1,182円+税10%)※部数により変動  
振替口座番号 01000-6-27404  
加入者名 東本願寺出版部

東本願寺公式YouTubeにて  
さまざまな行事の様子を  
公開しています。



東本願寺NEWS

検索

どうぼうしんぶん

# 同朋新聞

Dōbō Shimbun

1

Vol. 794  
January 2024



真宗本廟の修正会

今月の写真

真宗本廟では、  
1月1日から7日まで  
修正会が勤まります。

(6面参照)

今月の法話 如是我聞

両堂の輝き

新潟教区 中越12組 安浄寺  
安原 晃(91)

真宗本廟(東本願寺)の御影堂で十人ほどの外国人の人たちと出会い、通訳らしき人が私に質問してきました。初めてのお寺に来たので、仏様や由緒、建物について説明してほしいとのこと。それに応えて私は、真宗門徒の帰依処であることを念頭にして説明してみました。

「ここは全ての真宗門徒の帰依処である真宗本廟で、ご本尊阿彌陀如来を安置する阿彌陀堂、その阿彌陀仏の本願のいわれをよく聴き念仏申す身になれと呼びかけてくださる宗祖親鸞聖人の御真影を正面に仰ぐ御影堂があります。いわば御影堂は聞法の道場です。両堂は約四百年の間に四回の大火で全焼し、私たちが今居るこの両堂は百三十年ほど前に十数年の歳月をかけて再建され、特に御影堂は木造建築としては世界最大級と言われています。」

この説明を初めて聞いた外国の人たちは、どこまで理解できたかはわかりませんが、その中の一人が次のことを再び質問してきました。「阿彌陀堂と比べて御影堂はなぜこんなに大きいのですか?」。私は即座に答えました。「世界中の人々から来ていただき、本願念仏の教えを聴いて念仏者になってほしいからです。」

CONTENTS

人間といういのちの相  
差別を許さない  
社会を願って  
真野明美さん



4面

通信員リレーレポート

現在を生きる 第243回  
縁—お寺の掲示板— 第6回

5面

新連載

ひかりを伝えたいひと  
—七高僧と聖徳太子 第1回

6面

特集

真宗本廟の修正会  
—新たな年の始まり—



真宗門徒として帰敬式(おかみそり)を受けましょう

この紙面では、さまざまな人とおして、現代社会の抱える課題や人間そのものについて考え、宗祖御遠忌テーマ「今、いのちがあなたを生きている」、慶讃テーマ「南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう」の学びを深めていきたいと思ひます。

# 人間といういのちの相

すがた  
連載



## 差別を許さない社会を願って

インタビュー  
眞野明美さん

2021年3月、名古屋出入国在留管理局(名古屋入管)に收容されていたスリランカ出身のウイシユマ・サンダマリさんが亡くなりました。そのウイシユマさんの身元引受人となる予定であった眞野明美さんは、入管に收容され、仮放免になった外国人の方とともにシェアハウスで生活しています。在留資格を失った外国人の方に寄り添い、入管の外国人への扱いが改善されるよう活動されている眞野さんのお話から、人間の相を考えます。



シンガー・ソングライター。愛知県津島市在住。2018年に、不法滞在を理由に入管施設に收容された人が一時的に拘束を解かれる「仮放免」中の外国人を受け入れ、ともに生活するシェアハウス「下宿館」を開設。現在も難民申請中の外国人の方たちとともに生活している。

### 入管で困難を抱える人々

— 入管に收容され「仮放免」となった外国人の方と生活するシェアハウス「下宿館」を開きたいききと、現在の活動について教えてください。

現在は、外国人の方とともに生活している「下宿館」ですが、最初は「2人女性」が共同生活できる場所をつらうと、大型の民家を改修したことから始まります。改修が終わりに、いざ始めようとしたら、居場所を必要とし、訪ねてきた方は難民申請中の外国人の方でした。

最初にお会いしたのは、ウガンダの方でした。居住希望だったので「身分証明書となる在留カードを見せてください」と伝えると、彼は「ありません」と答え、強制退去令の取消訴訟の裁判中であることを話しました。その時は、「退去強制令書発付処分取消訴訟」という言葉も知りませんでした。弁護士や保証人、支援者も危機感を持って活動している状況です。

また、難民申請に限らず、在留資格を失ってしまった方の背景もさまざまです。離婚や、勤めていた会社の倒産などにより、在留資格を失い、次の職が見つからないなど、在留資格の変更ができないことがきっかけで非正規滞在となってしまう方も多くいます。非正規滞在が発覚し、入管による強制退去手続きがなされると、送還に際するまで入管施設に收容されます。期限はありません。

今「下宿館」にいる住人の中には、仮放免の延長申請の日が近づいてくると、ストレスによる頭痛で眠れない人もいます。仮放免の延長は必ず認められるわけではなく、再收容という場合もあります。住人たちは、強い不安や恐怖を抱えています。

とがきっかけで非正規滞在となってしまう方も多くいます。非正規滞在が発覚し、入管による強制退去手続きがなされると、送還に際するまで入管施設に收容されます。期限はありません。

今「下宿館」にいる住人の中には、仮放免の延長申請の日が近づいてくると、ストレスによる頭痛で眠れない人もいます。仮放免の延長は必ず認められるわけではなく、再收容という場合もあります。住人たちは、強い不安や恐怖を抱えています。

### ウイシユマさんに何が起きたか

— 眞野さんは名白屋の入管で亡くなられたウイシユマさんと交流があったとお聞きしていますが、交流が始まったきっかけと、交流を通して感じられたことを教えてください。

仮放免の延長申請に同行して入管に行く、私と同じように同行している支援者の方がおられます。その方たちに、仮放免の方のシエーターを運営していることをお伝えしていました。それがきっかけで、他の支援団体の方から受け入れてほしい人がいると紹介されたのがウイシユマさんでした。

まずは一度本人と会って決めたいと思い、面会しました。面会時、彼女は收容されて4カ月以上たっていました。とても緊張し、おびえるような姿で、アクリル板の向こうに現れました。大人というよりも本当に少女のように見えました。こんなところにいる

援者も身近におり、彼が安心して生活できる場を提供すればよいのだと思い、入居を受け入れました。そして、月に一度、仮放免の延長申請手続きに向かうべく同行することになりました。この時、初めて入管(出入国在留管理局)という場所があることを知りました。

入管に通ううちに、さまざまな問題を抱えた方と出会いました。例えば、仮放免中のブラジルの女性から「群馬県にいる父親のお見舞いに行きたい」という相談がありました。仮放免中に県外へ移動するためには、一時旅行届を入管に提出し、許可を受けなければいけないのですが、担当者からお葬式ならば許可するが、お見舞いはだめだと言われ、また、お葬式の際には死亡診断書を持つてくるようにと言われたと聞かされました。ですから、入管局長宛てに手紙を書き、一時

旅行届がなぜ許可されないのかについて理由を教えてくださいました。すると彼女にすぐ許可が下りました。日本人ではない方が、こういった状況の中で、自ら声を上げることは難しいので、事情などを知り得た人が声を上げないと、入管とやりとりができません。入管に足を運んだ際や、「下宿館」の住人とおして、困っている方のお手伝いをするようになりました。

— 住人の方は周りの地域の方々とも交流があるそうですが、どのような交流があるのでしょうか。

外国の方が住んでいると、最初はやはりみなさん遠巻きです。ただ、ごみ出しを住人らにしてもらい、だんだん挨拶の触れ合いが始まって、ちょっとした会話から話も弾むようになりました。住人は、時間があるので、近所の人が何か困っていたら、家の中にももらえず、ぜひ手伝ってあげてね、と伝えました。

— 入管に收容されている方への職員の対応については、どのように感じていますか。

ウイシユマさんはDVの被害者でした。しかも、DVの加害者とウイシユマさんは手紙のやりとりをしており、そのやりとりで、帰国しても採り出して罰を与えると言われていました。

入管庁は2008年の「DV予防法」が改正された際に「DV被害者おそれのある人に対しては、必ず地域の婦人団体

— どうしてこのような状況が生まれるのだと考えますか。

日本人は入国管理局にあまり行かないです。入管に来る日本人は、留学生のお世話をしている人や、技能実習生を雇用している人などがほとんどです。入管の職員は、ごく一部の限られた日本人からしか見られないため、人から見られているという感覚がありません。人から見られないように、威圧的な態度をとるのではないのでしょうか。普段私たちが行政機関で受ける対応とは大きく異なり、とても衝撃を受けます。

— 私たち自身の問題として

— どうしてこのような状況が生まれるのだと考えますか。

— 收容者の方を同じ尊厳ある人間として敬い接していくことが大事だと思いますが、日本に暮らす私たちが、どのような態度でこの問題について考え、関わっていくべきでしょうか。

— 最初に受け入れたウガンダの方は、難民申請中というのですが、仮放免の方々にはいろいろな事情があるのですか。

— 弱立場の人たちが十分にケアされない今の社会の在り方は、次は私自身の問題になってくると感じています。弱い人を役に立たない、厄介だから消えてほしいと思ってしまう。それは、絶対に私たち自身の問題になっていきます。

— 幸せを追求できる、そんな社会になつてほしいと願っていますが、まずは弱立場の人たちが幸せを実感できるようにしていかなくてはならないと思います。

— 日本には、多くの外国の方が労働者として住んでいます。自分の身近に外国人労働者がいることに気づいたら、ぜひ何か一言声をかけてほしいと思います。

— 在留資格を失うと、仮放免中であっても、住民登録をすることも、就労することもできません。自転車の防犯登録すらできません。全ての権利を奪われ、セーフティーネットもないのです。そういう実態を知った人が、少しずつ社会を変えていく。外国の方の存在は、どんな差別も許さないという社会を目指すためにとても大切ではないかと思ひます。(了)

— 私自身も最初に受け入れたウガンダの方と出会い、入国管理局の存在を知るまでは、外国の方たちの置かれた状況に関心がありませんでした。目の前に当事者が現れ、大変な状況を直接見て取ることで初めて関心が現れてきたまでです。私の場合は目の前に現れてきたから、このように魂が揺すられ、行動し



— 私自身も最初に受け入れたウガンダの方と出会い、入国管理局の存在を知るまでは、外国の方たちの置かれた状況に関心がありませんでした。目の前に当事者が現れ、大変な状況を直接見て取ることで初めて関心が現れてきたまでです。私の場合は目の前に現れてきたから、このように魂が揺すられ、行動し

— 私自身も最初に受け入れたウガンダの方と出会い、入国管理局の存在を知るまでは、外国の方たちの置かれた状況に関心がありませんでした。目の前に当事者が現れ、大変な状況を直接見て取ることで初めて関心が現れてきたまでです。私の場合は目の前に現れてきたから、このように魂が揺すられ、行動し

— 私自身も最初に受け入れたウガンダの方と出会い、入国管理局の存在を知るまでは、外国の方たちの置かれた状況に関心がありませんでした。目の前に当事者が現れ、大変な状況を直接見て取ることで初めて関心が現れてきたまでです。私の場合は目の前に現れてきたから、このように魂が揺すられ、行動し

— 私自身も最初に受け入れたウガンダの方と出会い、入国管理局の存在を知るまでは、外国の方たちの置かれた状況に関心がありませんでした。目の前に当事者が現れ、大変な状況を直接見て取ることで初めて関心が現れてきたまでです。私の場合は目の前に現れてきたから、このように魂が揺すられ、行動し



「下宿館」に設けられたウイシユマさんのコーナー

# 通信員リレーレポート

## いまを生きる 第243回

### 思いを受け継ぐ

新潟教区第6組  
浄照寺門徒

長谷川 良民さん(74歳)



長谷川良民さん

日本全国のご門徒の方々や各地で開かれている同朋の会を紹介します。



尾神岳殉難を伝えるジオラマ(製作:旧高田教区 大橋広史さん)

浄照寺門徒会の役員を務める大工の長谷川良民さん。良民さんの出身は、上越市から山間にある尾神おかみという地。明治期の真宗本廟再建に際し、雪深い山奥から木材を運搬する大変な作業中に起

きた雪崩により、多くの方のいのちが失われた「尾神岳殉難事故」の地としても知られる。「事故現場の近くに報尽碑ほうじんひという石碑があることは知っていたが、何を意味する石碑なのかわからず、事故についても知らなかった。よく父とそこにアケビを取りに行つたが、何も話さなかつたなあ」と話す良民さん。しかし、亡くなられた父、栄一さんの遺品整理をしていた時だった。栄一さんの親族が雪崩で亡くなつて

ように、雪崩により亡くなられた27名の中には、逃げ遅れた子どもも多く含まれていた。

また、1979年に勤められた尾神岳殉難百回忌法要にあわせ、歴史を顕彰しようと小学生が行つた殉難の劇を記録した映像に、当時勤務員をされていた栄一さんが出演し「木遣り唄」を歌唱している姿を見つけた。「父は歌が上手で声も良かった。子どもたちと一緒に尾神で起きた事故について若い人たちにも知らせたい、事故で亡くなつた親族や、いのちを落とした方々を弔とむらりたいという気持ちで伝わつてきた。私も本山を訪れ、展示している毛綱けづなや大槌おおつちを見るたびに、事故のことを忘れちゃならんなあ、ずっと保存してくれてありがたいなと感じる。そういう資料がなければ後世に語り継げなくなつてしまふからね」と思いを語る。

ご自宅には他にも多くの殉難事故に関する資料が残っているそうだ。「家に残っている資料を大切に残し、私も、父や親族たちの思いを引き継いでいきたい」と良民さん。たくさんの思いが次の担い手へとつなげていく。その中に良民さんがいると感じ、そうした多くの人の思いや願いによって両堂は立っているのだということを、あらためて思わされた。今一度本山に足を運びたい。そう強く感じる取材となつた。

新潟教区通信員

二所宮岳

## 縁えん お寺の掲示板

第6回  
お寺の掲示板に込められたさまざまな願いを、今月の言葉と一緒に毎月お届けします。



そくおうじ 即應寺(大阪教区第2組)  
大阪府大阪市阿倍野区阪南町1-23-13  
住職 藤井 真隆

## 不安怖れは、元もとのいのちに帰れと呼ぶ 根源の声

人間は生きていく限り「不安怖れ」を逃れることはできないでしょう。しかしそのことは、いのちの根源からの促しなのだと思えます。この言葉と関連して、横の掲示板には、「何となく不安」「何となく空しい」「何となく淋しい」「それは、自己の根源を忘れてきているシグナル」と掲示しました。

日本一の高さ(取材当時)を誇るあべのハルカスから程近く、閑静な住宅街に凛と佇む即應寺。

毎月一度、掲示する言葉を考え、揮毫するのは前任職の藤井善隆さん。大学卒業後、「声なき声で交流できる場」として掲示伝道を始め、50年以上続けられている。2000年の本堂改修を機に、隣にもう一つ掲示板を増設し、「すぐに答えの出る言葉ではなく、考えるきっかけとなる言葉」や「きれいごとではなく根源を問う言葉」で伝道されている。

現任職の真隆さんは、善隆さんの掲示伝道について、「なるべし現代社会に起こっている話題を取りあげ、その根っこにどういふことが問題になっているのか、人間そのものを問いかける法語を発信してくれています」と語る。

掲示板の言葉に触れて初めて聞法会に参加される方や、隣の高校でその言葉が話題になることも。「掲示板の言葉に、時に助けられます」とのご近所の声も聞かれ、地域に根ざしたお寺の顔として、声なき声での交流が深まっている。

大阪教区通信員

志紀 正機

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入 Tel.075-343-0458 Fax.075-371-0458

## 法蔵館

http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp 新刊メール配信中!  
お買上16,500円(税込)以上送料無料で 表示価格はすべて税込

### 特集 宮沢賢治

新刊

## 宮沢賢治の仏教思想

信仰・理想・家族  
牧野 静書  
一連の作品群から賢治の仏教思想とそのバックボーンを解明するとともに、近代の中で悩み続ける一人間・宮沢賢治の本質を抉り出す。  
三,三〇〇円

## 仏教百人一首

万葉の歌人から宮沢賢治まで  
大角 修 著  
和歌や俳句に仏や寺がよく詠まれており、心に響く日本の仏教を伝えている。古代から現代まで、仏教のあゆみを歌でたどる。  
一,五四〇円

## 響き合ういのち

金子みすゞと宮沢賢治の世界  
中村 薫 著  
みすゞの詩が伝える温かな感性の世界、隣人と共に生きた賢治の求道の生涯を通して、いのちの尊さをみつめた信仰のあり方を問う。  
七七〇円

## 浄土真宗の救い

「伝道シリーズ」  
中村 薫 著  
ありのままの私を肯定できる居場所をさがし求める者の問いに答えつつ、浄土真宗の救いを様々な具体的事例から語る講話集。  
二〇九円

## 生き方としての仏教

宮坂有勝 著  
官坂有勝 著  
病い、老い、死という身近で切実な話題から、仏教的な生き方の可能性を説く、最良の仏教入門。  
二,五三〇円

## 増補改訂 近代仏教スタディーズ

仏教からみたもうひとつの近代  
大谷栄一・吉永進・近藤俊太郎 著  
好評を博した「近代仏教」入門書、待望のアップデート版! 豊富な写真と人脈相関図を駆使し、近代仏教の歴史と魅力をイキイキと描く。  
二,二〇〇円

季刊誌

## ひとりふたり... お正月を迎える

身近なことから真宗の教えにふれる聞法誌。わかりやすく面白く参考になる気軽な一冊。次号が楽しみ、好評です!  
一三六円  
三〇部以上の購入で、部二〇〇円に割引。

新連載

# しかりを 伝えたひと

七高僧と聖徳太子

第1回



弘経 大士 宗師 等  
拯済 無辺 極濁 悪  
道俗 時衆 共 同心  
唯可 信斯 高僧 説

〔真宗大谷派勤行集〕三二頁

【書き下し】

弘経の大士・宗師等、  
無辺の極濁悪を拯済したまう。  
道俗時衆、共に同心に、  
ただこの高僧の説を信ずべし、と。

〔真宗聖典〕二〇七―二〇八頁

【意識】

真実の経を弘めてくださった菩薩や  
祖師たちは、  
濁りきった酷い世界に生きる限りな  
い数多くの人々を救ってくださいました。  
どのような立場にある者も心を一つ  
にして、  
これら高僧たちが説いてくださった  
ことばを信ずるほかにはない。

はじめに―ただこの高僧の説を信ずべし―

私は、中国の仏教を学ぶ中で、多くの  
仏教者が活き活きとしていたことに驚か  
されています。親鸞聖人も活き活きとし  
た生涯を送られました。報恩講で『御伝  
鈔』の拝読をとおして親鸞聖人の生涯を  
辿るのは、その活力を確かめようとして  
いるのでしょうか。では、聖人はどのよう  
にその活力を見出されたのでしょうか。

親鸞聖人が制作された「正信偈」は、  
先達である高僧方の教えをとおして「ひ  
かり」に遇えたことへの感動の表明で締め  
くくられています。

ここでいう「高僧」とは、単に「立派なお  
坊さん」というだけではなく、「七高僧」  
と呼ばれる人びとを指します。いずれれ  
も、「経(仏説無量寿経)」を弘めた「ひとで  
ある」と親鸞聖人は讃えておられます。先  
が見通せない「極濁悪」の世界では、南無  
阿弥陀仏という名号だけが「ひかり」と  
なつて私たちの救い(拯済)となります。  
親鸞聖人にこの気づきを与えてくださつ  
たのは、七高僧の「ことば」(「斯高僧説」)で  
した。

真宗寺院にお参りすると、どの寺院で  
も同じ方々のお姿を拝することになりま  
す。中央には本尊である阿弥陀仏がい  
らっしゃいます。その右側には宗祖親鸞  
聖人のお姿があります。左側にあるの  
は、多くの場合、中興の祖とされる蓮如  
上人の像です。この中央部を「内陣」と呼

んでいます。

その左右には「余間」と呼ばれる空間  
があります。一方の余間には二幅の肖像  
画が並べて掛けられています。一幅は「聖  
徳太子」、七人が一幅にまとめられている  
のが「七高僧」とされる人たちの像です。

仏教には、教えを伝えてくださった先  
達を順に示す「師資相承」という伝統が  
あります。ところが、七高僧は、単なる  
「教えが伝えられた順番」ではありません  
。七高僧のほとんどは、お互いに直接顔  
を合わせたことすらありません。私たち  
も親鸞聖人と直接にはお会いしていませ  
ん。それでも、聖人が気づかれたことは、  
「ことば」をとおして私たちにまで伝わ  
っています。

七高僧の教えの要となる「ことば」は、  
親鸞聖人にまで伝わりました。そういえ  
ば、お名号「南無阿弥陀仏」も、「ひかり」  
がことばとなったのです。

七高僧や聖徳太子から、聖人がどのよ  
うなことに気づかされたのか、来月から  
ご和讃など聖人ご自身のことばをお  
してたずねていきたいと思ひます。



わけみ あきら  
采翠 晃  
大谷大学文学部  
仏教学科教授  
京都教区近江第25西組  
長光寺住職

編集部より

今月号より、大谷大学教授の采翠晃先生に  
ご執筆いただき、七高僧と聖徳太子につい  
ての連載を開始します。

親鸞聖人がお念仏の教えを自分のところま  
で届けてくださった師として、生涯大切に仰が

れた方々がいます。「七高僧」と呼ばれるインド  
の龍樹・天親、中国の曇鸞・道綽・善導、日本の  
源信・源空(法然)。そして「倭国の教主」と仰が  
れた聖徳太子です。それぞれ生きた時代、言  
語は異なりますが、文字や言葉によって、お釈

迦様の教えを広く伝え、「ひかり」となって今で  
も私たちに問いかけてくださっています。

親鸞聖人は彼らからどんな「ひかり」を受け  
取られたのでしょうか。聖人の著作などを手掛か  
りに、毎月少しずつたずねていきます。

特集

# 真宗本廟の 修正会

## — 新たな年ののはじまり —

「修正会」とは、一年の初めにお荘厳を整え、仏恩報謝の思いを新たにもって新年にのぞむ仏事です。各地の大谷派寺院で、多くは元旦に勤まりますが、真宗本廟(東本願寺)では、1月1日から7日まで勤まり、どなたでもお参りいただけます。

### 修正会の日程

- 1月1日  
5:30 献盃の儀 [御影堂]
- 6:20 晨朝(朝の勤行) [阿弥陀堂↓御影堂]
- 1月2~7日  
6:50 晨朝 [阿弥陀堂↓御影堂]
- 16:00 昏時 [御影堂]
- 法話 [御影堂]
- お屠蘇の振舞い [御影堂]
- 16:00 昏時(夕方の勤行) [御影堂]

### — 献盃の儀とは —



献盃の儀は、新たな年を迎えた挨拶として、親鸞聖人の御真影の前に用意される大盃に、門首がお屠蘇をおそなえする儀式です。1年の中でも1月1日にしか行われません。



### 仏花

花立てを担われるのは「花小商店」。池坊の流れをくみ、江戸・元禄時代から東本願寺に仏花をそなえ続けています。

立てられるのは南天・水仙・椿・寒菊など季節の花々。約10日間かけて準備され、12月31日に飾られます。御真影前の仏花は1つ100kgほど。

仏花・鏡餅がおそなえされ、新年の朝の澄み切った空気の中、門首・新門をはじめとする出仕者、そして参拝者のお勤めの声が響きわたります。

### 鏡餅

愛知県、旧中島郡(現在の一宮市・稲沢市)のお寺を会所として、「中島郡会(御華束講)」の会員約70名と地域のご門徒の方々によって鏡餅は準備されます。作る餅は大小合わせて約110個(本廟80・祖廟30)。

12月28日に餅をついて丸い木枠に入れ、1日かけて乾燥。30日に木枠から出して、31日の朝に愛知から本廟・祖廟に運び、おそなえされます。

たくさんのもち米を何回にも分けて蒸してつくのは大変ですが、お寺さんや役員さん方と和気あいあいと行き、携わられた方には「いい経験ができた」とおっしゃっていただけます。お飾り際には、本年への感謝と来年の安寧を願っています。

御堂の裏で立て、木の道具で神輿のように担いで内陣にお飾りするので、なかなかの重労働ですが、花をあげ終わった時にはほっとしますね。父から受け継いで私で13代目になりますが、これからも伝統を守り続けていきたいです。



田中 幸夫さん (花小商店店主)



稲垣 宏海さん (御華束講会長)

### 出仕



出仕前に待機する後堂は、行灯の光のみでとても暗く、息を吸うたびに澄んだ空気がより沁みます。この光景は100年前と何ら変わらないのだと思うと、守られてきた伝統をひしひしと感じます。修正会は得度している人であればどなたでも出仕できるので、ぜひいろんな方に体感していただきたいです。



森川 徹さん (大阪教区西慶寺住職)

このような道具を使ってお屠蘇をついでいます



### 新たな年を真宗本廟(東本願寺)で迎いませんか?

ご紹介しきれませんでした。阿弥陀堂でも新年のお荘厳がなされています。

また、献盃の儀でおそなえされたお屠蘇は、法要後、ご参拝いただいた皆さまに振舞っています。

ぜひお参りにお越しください!



御本尊は本山からお受けしましょう

# 真宗本廟報恩講 厳修



結願日中の坂東曲

11月21日から28日にかけて真宗本廟報恩講が厳修され、8日間であわせて約3万人が参拝し、インターネットライブ配信にて約3万回視聴された。

21日の初逮夜から28日の結願日中まで七昼夜にわたり法要が勤まり、法要の前には法話や感話が行われた。28日を除く毎日中法要後には帰敬式が執り行われ、報恩講を縁に多くの方が新たに仏弟子となった。

21日は報恩講の初逮夜に先立ち、御正忌報恩講讃仰法要が音楽法要によって勤まった。名古屋音楽大学からも5人が参加し、音楽法要曲(新美徳英氏作曲)を用い、電子オルガンの音色と、合唱団や参拝者の歌声が御影堂を包んだ。25日の夕刻には『御伝鈔』が拝読され、参拝者は仄暗い御影堂で、親鸞聖人のご生涯に耳を傾けた。親鸞聖人の御祥月命日である28日は、結願日中(御満座)で「坂東曲」が勤まった。「坂東曲」は何十人もの僧侶が体を前後左右に力強く揺らしながら念仏・和讃を繰り返す声明で、この「坂東曲」にあおると、早朝5時前から開門を待つ参拝者の姿も見られた。



『御伝鈔』拝読

## 子ども報恩講のつどい

23日には子ども報恩講のつどいを開催し、全国から250人以上の子どもたちや保護者が参加した。御影堂での「正信偈」のお勤めの後、一楽真氏(大谷大学学長)のお話を聞いた。つどいを楽しむ子どもたちの笑顔が御影堂を彩った。



子ども報恩講のつどい

## 『教行信証』坂東本の解説

阿弥陀堂では、『教行信証』坂東本(影印本)を展示し、直筆だからこそわかる親鸞聖人の思索を教学研究所属員が解説した。延べ800人以上が参加し、「活字で読むのとは違い、親鸞聖人がその時代に生きておられたのだと感じられ、とてもよかった」との声があった。



解説の様子

## しんらん交流館でのさまざまな行事

しんらん交流館では、24日には「人にうまれて一信仰と社会」をテーマに真宗教学学会講演会を開催。また、26日から28日は親鸞聖人讃仰講演会を開催した。

## 多彩な行事

報恩講期間中は、「報恩講お齋」が従来のお膳方式で提供された。また、高倉幼稚園園児による発表会や京都市大谷中・高等学校吹奏楽部による演奏会、御正忌報恩講コンサートといった例年行事も開催された。また、境内では休日を中心に昨年春の慶讃法要で好評だった東本願寺キャラクター大型バルーンや、昨年7月から行われている「鐘楼」修理現場の公開なども行われ、多くの参拝者が訪れた。



お齋の様子

# お東さんガイド

## レポート

### 「井波彫刻師による東本願寺の彫刻ガイドツアー」再び!! —「木彫刻の寺」東本願寺の魅力発信—



御影堂門の彫刻の解説をする澤香斧氏(中央)

慶讃法要期間中に実施した「井波彫刻師による東本願寺の彫刻ガイドツアー」が、昨年10月28日から3日間、公益財団法人竹中大工道具館の主催で再び開催された。御影堂門・御影堂・阿弥陀堂・阿弥陀堂門を巡る約2時間のツアーには、全国から151名が参加した。

講師には、東大寺南大門扁額や浄土真宗本願寺派勝興寺(富山県)の彫刻復元など、多くの寺社彫刻を手掛ける井波彫刻協同組合常務理事の澤香斧氏を迎え、現代の彫刻師の視点で、東本願寺の彫刻の魅力を紹介いただいた。また、僧侶の視点から真宗本廟の歴史や建物の意義についての解説も加えられ、今日に伝わる見事な彫刻の背景には、仏法を聞く生活があり、聞法の間としての真宗本廟を大切に思う多くの門徒の思いがあったことが語られた。

鳩網で遮られる高所に多く施されている彫刻だが、朝日が差し込む時間帯や夕暮れ時など、光の加減によって美しい姿を見ることが出来る。ご参拝の際は、随所に施された彫刻にもぜひご注目ください。



動画・ガイドマップは、こちらからご覧いただけます↓



## お知らせ

### 首都圏教化推進本部 オンライン親鸞講座開講

詳細・お申込みはこちら →



首都圏教化推進本部では、首都圏の主要な駅付近の会場において、首都圏にお住まいの方が親鸞聖人の教えに触れ、真宗のご縁を結んでいただく機縁として、親鸞講座を開講しています。

このたび、オンライン配信による親鸞講座を開講いたします。苦悩に向き合いながら、教えに出会い、その道に生き抜かれた親鸞聖人のお姿を3回にわたって学びます。

日時	(第1回)2024年2月14日 (第2回)2月28日 (第3回)3月13日 各回19時30分~21時 ※見逃し配信あり	全て水曜日
配信	Zoom(定員300名)	
講師	藤元 雅文 氏(大谷大学准教授)	
テーマ	親鸞聖人の生涯に学ぶ	
参加費	3,000円(全3回分) ※クレジット決済	
申込締切	2024年2月2日(金) または銀行振込	※定員になり次第締切といたします。

### 東本願寺仏事サポートセンター福岡 「仏教入門講座 in 熊本」

詳細・お申込みはこちら →



このたび「仏教・仏事のハテナ?」をテーマに「仏教入門講座in熊本」を開催します。

右記の会場の他、オンラインでもご参加いただけます。全国各地の方々のご参加をお待ちしております。

開催	2024年1月~6月(全6回) 各回14時~15時10分
会場	くまもと森都心プラザ(定員50名) (熊本市西区春日1丁目14-1)
配信	Zoom(定員500名)
講師	吉元 信暁 氏(九州大谷短期大学教授)
参加費	6,000円[会場参加]/3,000円[Zoom]

お問い合わせ TEL:092-734-0208(仏事サポートセンター福岡)

## 東本願寺出版 おすすめ本

### 〈真宗新書シリーズ 最新刊〉 浄土真宗の宗祖・親鸞 その生涯と教えの入門書

850年の昔、この日本に生まれた浄土真宗の宗祖・親鸞聖人。その生涯における重要な事績を辿りながら、私たちが何を拠り所として生きるのかを尋ねる1冊。親鸞の生涯、そして浄土真宗の教えに初めてふれようとする方に最適な入門書です。

## 親鸞入門 ◆新刊◆

一楽 真 著  
新書判 240頁 / 定価:968円(税込)



東本願寺御用達

# 日下念珠店

〒600-8174  
京都市下京区烏丸通花屋町下ル  
電話 (075)351-6325  
フリ-FAX 0120-89-5255  
定休日:日曜日

## 一般入試 出願受付中!

試験制度	出願期間	試験日	合格発表日
第1期	12月18日(月) 1月17日(水)	[3教科型] 2月4日(日)/5日(月)	2月15日(木)
		[2教科型] 2月4日(日)/5日(月)/6日(火)/7日(水)	
大学入学共通テスト 利用入試	締切日消印有効	[3教科型] [2教科型] 1月13日(土)/14日(日) 大学入学共通テスト (本学での個別学力試験等は課しません)	

【第1期】では東京、金沢、名古屋、彦根、大阪、神戸、広島、高松に学外試験場を設けます!

入試情報、資料請求はこちらから



お問い合わせ: 入学センター  
〒603-8143 京都市北区小山上総町  
TEL: 075-411-8114(直通)  
E-mail: nyushi-c@sec.otani.ac.jp



ご案内

真宗本廟

開門・閉門時間/3月~10月:5時50分~17時30分
11月~2月:6時20分~16時30分

晨朝(おあさじ)

【場所】阿彌陀堂及び御影堂 【時間】毎日7時~

晨朝法話

【場所】御影堂 【時間】毎日7時30分頃~

真宗本廟法話

【場所】視聴覚ホール・御影堂・参拝接待所仏間
【時間】通常 10時10分~13時10分~
速夜日(12・27日) 13時10分~
御命日(28日) 9時30分~
※その他、時間・会場を変更する場合があります。

参拝接待所ギャラリー 【時間】9時~16時

「親鸞聖人のご生涯」(常設展)開催中
「修正会の荘厳と仏花」開催中(~1月14日)

詳しくは → 東本願寺 検索



しんらん交流館

真宗本廟(東本願寺)へご参拝の際には、
ぜひお立ち寄りください。
開館時間/9時~17時
休館日/毎週火曜日、1月1日~9日

1月の定例法話

【日時】毎日14時~ ※休館日、その他
都合により休会する
場合があります。

1月の東本願寺日曜講演

【時間】9時30分~11時
【講師】1月14日 御手洗 隆明
(教学研究所研究員)
1月21日 小川 直人
(大谷大学講師)
1月28日 藤原 千佳子
(金沢教区浄秀寺前坊守)

詳しくは →

浄土真宗ドットインフォ 検索



2024年

真宗本廟奉仕に
参加してみませんか

真宗本廟奉仕を機にぜひ帰敬式を受式ください

おみがき奉仕団

3月7日(木)~9日(土)
または3月7日(木)~8日(金)

春の法要を迎えるにあたって、
真宗本廟内の仏具のおみがき
を中心とした奉仕団です。

※申込締切は各入館日の40日前です。

参加費 (2泊3日) 18,000円、米2kg(1升4合)または米代1,300円
(1泊2日) 13,000円、米1.2kg(8合)または米代800円

お申し込み・
お問い合わせ 同朋会館・研修部
TEL:075-371-9185

春の法要奉仕団

4月1日(月)~3日(水)
または4月1日(月)~2日(火)

宗祖親鸞聖人の御誕生を縁と
した「親鸞聖人御誕生会(音楽
法要)」等の春の法要参拝を中
心とした奉仕団です。

入館中はお仲間や
他団体の方々とカフェ
(無料)でほっこり♪



今月号の『同朋新聞』を読んで、
クロスワードパズルを完成させよう!

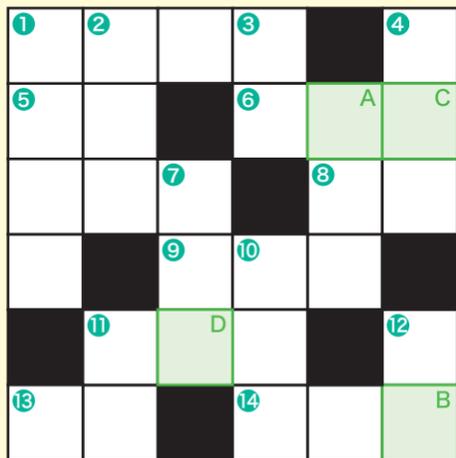
「タテのカギ」「ヨコのカギ」それぞれの設問に答え、クロスワードパズルを完成させましょう!
1月号の『同朋新聞』を読むと、ほとんどの答えがわかります!!

タテのカギ

- 1 「人間といういのちの相」眞野明美さんは、シェア
ハウス「下〇〇〇〇ん」を開設されました。(2・3面)
2 新連載「ひかりを伝えたひと」今月号より、七高僧と
し〇〇〇〇太子についての連載を開始します。(5面)
3 「今月の法話 如是我聞」初回となる今月号は、新潟
教区の〇〇原晃さんが執筆しています。(1面)
4 「特集」今月のタイトルは「真宗本廟の修正会 -
あ〇〇〇年のはじまり-」です。(6面)
7 「縁 -お寺の掲示板-」今月の法語は「〇〇〇・
怖れは、「元のいのちに帰れ」と呼ぶ根源の声」で
す。(4面)
10 阿彌陀堂では、『〇〇〇〇行信証』坂東本(影印本)
を展示しました。(7面)
11 「今月の法話 如是我聞」今月のタイトルは「両堂
のかが〇〇」です。(1面)
12 昨年11月21日から28日にかけて真宗本廟報
〇〇講が厳修されました。(7面)

ヨコのカギ

- 1 「現在を生きる」今月号は新潟教区通信員
二〇〇〇〇岳さんが執筆しています。(4面)
5 今月の写真は、「真し〇〇本廟の修正
会」です。(1面)
6 「人間といういのちの〇〇〇」今月号は、眞
野明美さんのインタビューです。(2・3面)
8 慶讃法要期間中に実施した「〇〇〇〇彫刻師による東本願寺の彫刻ガイドツ
アー」が、昨年10月28日から3日間、再
び開催されました。(7面)
9 新連載「ひかりを伝えたひと」の執筆者
は、大谷大学教授の采筆〇〇〇〇先生で
す。(5面)
13 「読者のお便り」今月のタイトルは「〇〇
父に思うこと」です。(8面)
14 「特集」お仏花の花立てを担われるのは
「花小しよ〇〇〇」です。(6面)



11月号のクロスワードパズルの答えは

しんぞんば

答え



※答えはすべて「ひらがな」でお答えください。

読者の
こえ

10月号を
読んで

- ◆「親鸞聖人に出会う」自分も生徒に戻った
気持ちで読んでいます。(70代男性)
◆新僧侶の誕生。198人もの子どもの白装束姿の受式。なんとも頼もしく、将来の
僧侶としての一歩に、心から拍手を送りたい
と思います。(80代女性)

編集室だより

◆新年あけましておめでとう
ございます。昨年11月号から
お伝えしておりましたとおり、
今月号から『同朋新聞』をリ
ニューアルいたしました。デザ
インを一新し、より親しみ
やすく読みやすいデザインを
目指しました。構成も12面か
ら8面へと変更しましたが、
引き続き充実した紙面をお
届けしていきたいと思いま
す。また、1面では「今月の法
話 如是我聞」、5面では「ひか
りを伝えたひと」の連載が始
まりました。今月の法話では、
各教区でご活躍の方から毎
月執筆いただき、日常や季節
の話題から仏法にたずねて
いきます。また、5面では七高
僧と聖徳太子を親鸞聖人が
どのようにいただかれてきた
かについて大谷大学の采筆
先生にご執筆いただきます。
ぜひお楽しみください。
◆リニューアルに際し、『同朋
新聞』が大切にしていること
についてあらためて考える機
会をいただきました。みなさ
まからのご感想もお待ちして
おります。(玉井)

チャレンジ! リニューアルを記念して
正解者の中から抽選で10名様に「東本願寺出版オリジナル図書カード1,000円分」をプレゼントします!

郵便はがきまたはメールにて、①「クロスワードパズ
ルの答え」②「郵便番号」・「住所」・「氏名」・「年齢」・
「電話番号」と③『同朋新聞』の感想や紙面に関する
要望を添えて、右記までご応募ください。今月号の
締め切りは2月10日(土)(当日消印有効)です。

宛先 〒600-8505
京都市下京区烏丸通七条上る
東本願寺出版
「クロスワードパズル係」まで

メールでも応募できます!

はがきと同様に必ず左記①②③を記入し、
「件名」に「同朋新聞1月号クロスワード応募」
と入力の上、higashihonganjishuppan
@gmail.comへお送りください。

応募は
コチラ!



〈ご注意〉 ◆当選者の発表は、発送をもって代えさせていただきます。◆個人情報プレゼントの発送および紙面づくりの参考に使用し、それ以外の目的には使用しません。◆感想は「読者のお便り」に掲載する場合があります。◆本クロスワードパズルは、独自のルールに基づいて作成しております。

読者のお便り

亡き父に思うこと

三重県四日市市
たなか みねこ
田中 峰子 (73歳)

『同朋新聞』2023年10月号の「人間とい
ういのちの相」のコーナーで、「ごみ収集の
現場から」という記事を読み、亡き父のこ
を思い出しました。
私の父も、20年ほどごみの回収をしてい
ました。当時小学生だった私は、父の仕事

学校の友達に話せませんでした。恥ずかし
かったのです。
父から仕事の話やを直接聞いたことはなく、
亡くなった後見つけた父の手記で初めて、
その大変さを知りました。リング箱に入った
ごみをトラックの荷台に投げ入れ、肩が痛

かったとか、ほこりが立つ中、ガーゼのマスク
で作業していたとか。
今となつては、立派な仕事だったと感じ、
父ももっと話をしておけばよかったと思ひ
ます。これから、自分の娘と話す時間を大切
に過ごしていきたいです。

お便り募集 『同朋新聞』の感想をはじめ、日々の思いなどをお寄せください。

宛先 Eメール/shuppan@higashihonganji.or.jp FAX/075-371-9211
〒600-8505 京都市下京区烏丸通七条上る 東本願寺出版「同朋新聞編集係」

◆住所・氏名・年齢・電話番号を明記してお送りください。
紙幅の都合上、掲載時は添削・抜粋させていただく場合があります。

2024年 1月29日[月]▶31日[水] 東京 浅草公会堂
2月26日[月]▶29日[木] 京都駅ビル内 京都劇場
3月6日[水]▶8日[金] 名古屋 Niterra 日本特殊陶業市民会館
9月11日[水]▶17日[火] 大阪日本橋 国立文楽劇場



公演の情報は
こちらから

各地の公演 (11月16日現在、計画中)

各会場で開演時間・料金等異なりますのでQRコードで検索、
または下記までお問い合わせください。

- 2月1日(木)【水戸市】/ 8日(木)【熊本市】/ 9日(金)【八代市】/ 10日(土)【久留米市】/ 12日(月)【波佐見町】
/ 14日(水)【岩国市】/ 15日(木)【下関市】/ 20日(火)【津市】/ 21日(水)【豊橋市】/ 22日(木)【岡崎市】
3月4日(月)【岐阜市】/ 5日(火)【長野市】 6月23日(日)【福井市】/ 24日(月)【金沢市】/ 25日(火)【富
山市】/ 26日(水)【高岡市】/ 27日(木)【上越市】/ 28日(金)【新潟市】 7月1日(月)【山口市】/ 2日(火)【福
岡市】/ 3日(水)【北九州市】/ 4日(木)【大分市】/ 5日(金)【佐伯市】/ 7日(日)【日田市】/ 9日(火)【中津市】
/ 11日(木)【宮崎市】/ 12日(金)【都城市】/ 17日(水)【福山市】/ 18日(木)~20日(土)【広島市】/ 22日(月)【鳥
取市】/ 23日(火)【神戸市】/ 25日(木)【郡山市】/ 31日(水)【小樽市】 8月1日(木)【千歳市】/ 2日(金)【帯
広市】/ 4日(日)【旭川市】

お申込み・お問い合わせは前進座 TEL:0422-49-2633

